

本年度の教職員研修の実施状況について

1 実施状況

中核市として県教育委員会から研修が移譲されたことにより、これまで県教育委員会が実施してきた教職員年次研修の内容や質を確保しながら研修体系を整理し、計画・実施してきました。特に初任者研修では、明石市の教員として、市の重要施策への理解を深めて“明石の先生”になるという自覚を持たせるとともに、市長部局と連携協力し、「子どもに寄り添う学校」、「一人の子どもも見過ごさない学校」を目指す精神の涵養がさらに求められることから、「まちづくり研修」を実施しました。

なお、「まちづくり研修」は、受講対象を初任教員に加え新規採用の栄養教諭、養護教諭、事務職員にも広げ、授業に影響のない夏季休業中に実施しました。

【年次研修】

研修名	本年度の日数と主な内容	移譲前
初任者研修	22日 （県主催の研修に参加する6日を含む） 教科指導、授業実践、生徒指導、ICT活用、コンプライアンス等	3日
2年次研修	2日 （2019年度より5日）特別支援教育、人権教育	2日
3年目研修	3日 （2020年度より5日）生徒指導、授業力向上等	3日
5年次相当研修	1日 選択研修	0日
中堅教諭等資質向上研修	10日 教科指導、生徒指導、教育課題、若手育成等	0日
15年次相当研修	1日 選択研修	0日

【市独自：初任教員および新規採用職員（養護、栄養、事務）対象】

まちづくり研修 <連携先> 福祉局 福祉総務課 子育て支援課 児童福祉課 児童相談所準備担当 さとおや担当 あかし保健所 市民生活局 文化・スポーツ室 あかし動物センター 天文科学館 政策局 政策室 教育委員会事務局 学校給食課	3日 第1回「人にやさしいまちづくり」 (1) 共生社会をめざす明石市の取組について理解する。 (2) ユニバーサルマナーについて理解し、検定3級を受験する。 (3) 障害のある方と街に出かけてフィールドワークを行う。 第2回「だれもが安心して学び過ごせる環境づくり」 (1) 明石市の子ども総合支援推進体制について理解する。 (2) 児童虐待の早期発見・早期対応の方法を学ぶ。 (3) 社会福祉協議会、児童養護施設カーサ汐彩を訪問する。 第3回「明石の施設に学ぶ」 (1) 明石市の施設に実際に足を運び、その機能や役割を理解する。 (2) 授業への活用法や学校との関わり等を考える。
---	---

2 成果

(1) 本市の教育課題に応じた研修

- ・市で独自に研修を行うことで、明石の教育課題を反映させ実施することができました。教科指導や生徒指導についても、全県を対象に行われてきた研修に比べ、明石の子どもたちの学習状況や学習環境、学校生活の様子等に則した内容で実施することができました。
- ・研修センター指導主事が10数名ずつのグループを担当し、研修状況やメンタル面の状況を学校長と情報交換を行うことで、きめ細やかなサポートができました。
- ・教育委員会事務局法務担当課長による「コンプライアンス及びリスクマネジメント」研修を実施し、保護者や地域から信頼される学校職員としての意識を高めることができました。

(2) 本市のこども支援に係る重点施策の理解

- ・関係の市長部局と連携し、ユニバーサルマナー検定、障害者とのフィールドワーク、児童虐待の早期対応、児童養護施設の見学等の具体的な内容で「まちづくり研修」を実施することで、「こどもを核としたまちづくり」を進める市の施策を理解し、連携の大切さと知るとともに本市の教職員としての自覚も高めることができました。

※受講者の感想

「虐待の傾向に気づきやすい立場にいることを自覚し、日々子どもの様子を見守り早期発見・早期対応に努めたい」

「困ったときにサポートしてもらえる仕組みがあることが分かったので次につながるようなことができるようにしたい」

(3) 効果を高める工夫や条件整備

- ・受講前に関連資料に目を通す事前学習や学びたいことを整理する「研修ノート」、受講後に研修内容の定着を図る「理解度確認テスト」、それらをもとに客観的に研修を振り返る「研修総括シート」を用いることにより、主体的に学び、明日からの教育実践にいかすイメージをもつ等の研修効果を高めることができました。
- ・北庁舎へ移転しホールや研修室を活用できるようになったことで、一斉研修や小グループ研修などの多様な研修形態が可能になり、ねらいに基づいた効果的な研修を実施することができました。

3 来年度の取組について

- ・『まちづくり研修』を継続して実施します。
- ・年次研修では、新たに移譲される『2年次研修』等を含め、指導主事の専門性の向上と市長部局との連携等による研修内容の充実を図ります。
- ・主催講座では、教職員の働き方改革に合せ、集合型研修と派遣型研修のバランスを見直す等、研修の充実と効率化を図ります。